

新しいシーズンが始まる

春の日差しがまぶしいグラウンドに選手たちの掛け声がこだまする。体育館や道場では気合いの入った声が響く。キャンパスにはフレッシュな新入生の笑顔があふれている。今年には大学創立50周年の節目の年。年初には男子駅伝部が箱根駅伝で3年ぶりにシード権を奪還し、「城西のスポーツ」は好スタートを切った。これを励みとした各部の活躍が期待される。苦しい練習に耐え、鍛え上げてきた選手たち。その成果を発揮する新しいシーズンがこれから始まる。「城西大学スポーツ」(Jスポ)で選手たちの活躍を知り、「城西のスポーツ」を応援しよう。

“城西のスポーツ”を応援しよう



四番・長谷川の轟快スイング

新入生のみなさん
ご入学おめでとうございます



水田 宗子
理事長

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。今年には、学校法人城西大学の創立50周年に当たります。この記念すべき年の春に「城西の門」をたいたみなさんを、教職員一同、心から歓迎いたします。政治家・蔵相として戦後、廃墟となった日本の復興に力を尽くし、経済発展の道を切り開いた創立者の水田三喜男は、教育と人材育成こそがその根本と考え、本学を創立しました。「学期による人間形成」が創立者の掲げた建学の精神です。このキャンパスで多くの若者が、その精神を尊びながら、勉学やスポーツ・文化活動にいまそしました。ここ「けやき台」から巣立った学生は、いま立派な社会人として、さまざまな分野で活躍しています。12年連続して箱根駅伝に出場し、今回、シード権を獲得した男子駅伝部をはじめ、栄光を目指してがんばっている各運動部も、この建学の精神と先輩たちが築き上げた伝統の力に支えられていると思います。わたくしたちは、地域社会と密着しながら世界にはばたくグローバル大学にしたいことを目標にしています。城西には「知の地平線」とともに「スポーツの地平線」も広がっています。スポーツ文化活動を通じて、よりよい学生生活を送ってください。

記事を書いてみませんか。初心者でも大丈夫です。新聞記者経験がある職員が取材・書き方を基本から指導します。留学生も「学生記者」として活躍しています。興味がある学生、やる気がある学生、大歓迎です。写真、イラスト、漫画などでも協力してくれる学生もぜひ参加してください。

連絡はこちらまで j-sports@josai.ac.jp

硬式野球部 創部50年 「～伝統の重み～“勝つ”ことに執着し、拘る」

大学創立と同じく50周年を迎える硬式野球部。新年度は「伝統の重み」「勝つ」ことに執着し、拘る「スゴい」で、首脳陣の野望が、今シーズンの頂点を狙う。

主役・生井 一目的の戦い
リレー戦は昨年からの回戦総当たり制の勝率制に変わった。春季は8チーム中4位だったが、秋季は6位となった。順位を落とした最大の要因は、得点に対して失点が多かったことだ。小原重頼監督は「一年と同じく、今年の課題も基本的な練習を続けて守りを固めること。勝率制への変更に伴い、同じ相手と2試合しか対戦しないため、調子の良い選手からどんどん使っていく」と語る。1年生本選手出場のために、ただ目の前の一戦一本戦を戦うのみと決意を新たにす。

元千葉ロッテ代田氏 コーチ就任
小原重頼監督は就任6年目。100人を超える大世代の部に力強い助っ人が現れ

た。O.Bで社会人やプロ野球で活躍し、2010年まで千葉ロッテマリンスでコーチを務めた代田建紀(たいたいけんき)が、ベテランとして、4月からコーチに就任した。代田コーチは現役時代、投手、ウエスタンピッチャーで監督に就任した実績がある。現役選手たちは、走塁面での技術のほか、幅広い指導を受けることが可能になった。

チームは今、精神的に練習試合をこなして開幕に備えている。練習場、多くの新入部員を迎えてグラウンドは活気にあふれている。12年ぶりの優勝は決して夢ではない。

期待の投手

 阿部力也 (経営2)	 竹脇大貴 (現代政策3)
---	--

有力新入生 (内は出身高校)

 磯部修平 (日本ウェルネス、三笠中)	 井上寛賢 (日本航空、投手)
 田中弘樹 (昌平、中堅手)	 難波龍人 (PL学園、捕手)

チームワーク生かし 関東3部へ



ラグビー部
ラグビー部はつるむ部で在籍したことも多い。チームは昨年入替戦で駿河台大に敗れて3部への入替戦で、相手を倒して、メンタル面の弱さを出して3部。3部リーグの差を痛感させられ、新主将の八戸翔哉(経営4)は振る意。

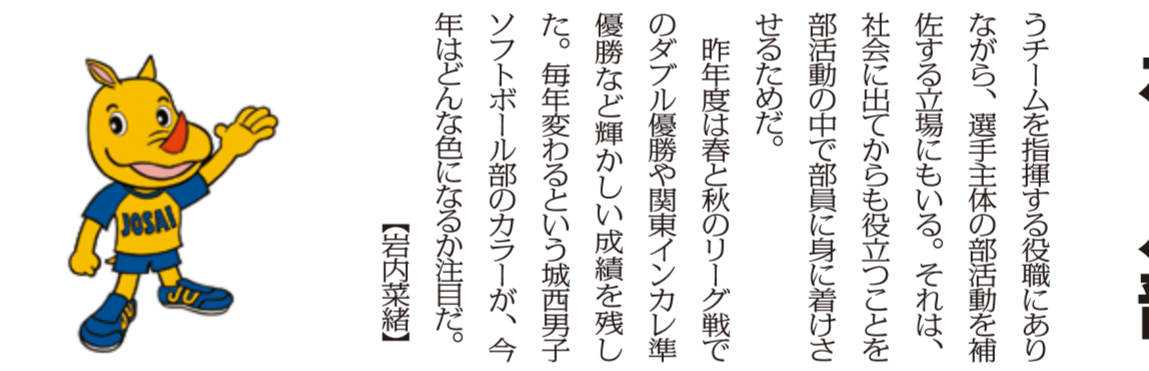
新チームは、ユニフォームが高く活気あるチームと語る。新1年生が、入替戦で活躍するのを期待している。新主将として、アラウンドと私生活の両方で、本となる存在でありたいと力強く語る。

■プロフィール
部員数：30人
部長：森島和孝
監督：白澤雅也
主将：八戸翔哉 (経営4)
主務：室田拓夢 (経営4)

■試合日程
5～6月 オープン戦
11月 関東大学リーグ戦

今年も 春・秋ダブル優勝なるか

男子ソフトボール部
今春は11人もの新入生の入部が予定されている。東京選抜や北海道選抜のキャプテン経験者ら高校時代に全国の舞台で活躍した選手も多い。部員数の増加により、練習メニューも多岐にわたる。昨年度は、春・秋のダブル優勝を達成し、今年もこの目標を掲げている。

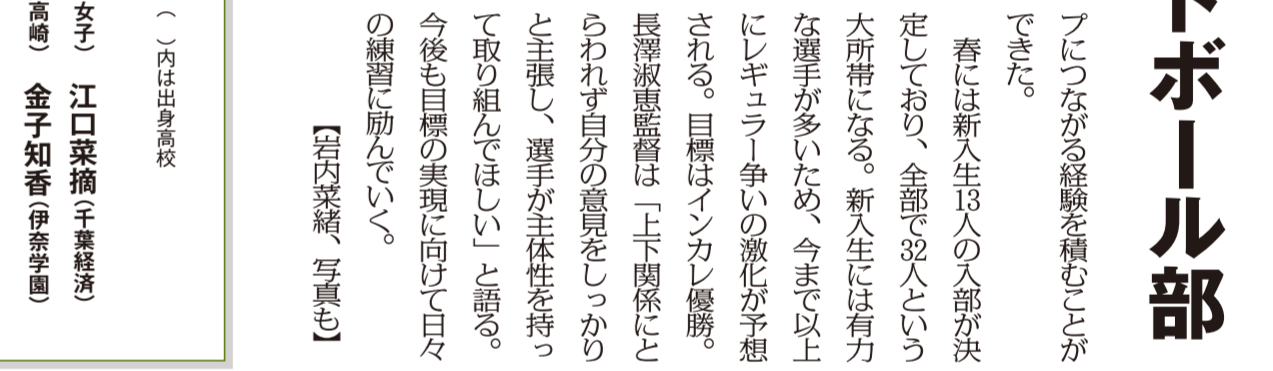


■プロフィール
部員数：20人
部長：木村一朗
監督：繁沢光浩
主将：太田孝宏 (現代政策4)
主務：池田昭一 (現代政策4)

■試合日程
5月 春季リーグ (埼玉・坂戸)
8月 東日本大学選手権地区予選
10月 全日本大学選手権 (三重)
11月 関東大学選手権

インカレ優勝へ日々励む

女子ソフトボール部
2月にアメリカのカリフォルニアで行われた米国全米ソフトボール選手権大会に出場し、優勝した。この大会は、全米ソフトボール選手権大会の予選大会。優勝したことで、インカレ出場権を獲得した。インカレ出場に向けて、日々練習に励んでいる。



■プロフィール
部員数：19人
部長：新井浩志
監督：高橋英志
主将：高橋英志 (経営4)
主務：菅原夏彦 (現代政策4)

■試合日程
4月 全日本総合選手権予選
5月 春季リーグ (埼玉・坂戸)
8月 全日本大学選手権地区予選
10月 全日本大学選手権 (三重)
11月 関東大学選手権

宙返りやバク転 華やかに 剣道部

■プロフィール
部員数：16人
部長：佐藤純志
監督：小林学
主将：黒須健 (薬学4)
主務：石川詩織 (薬学4)

■試合日程
6月 埼玉大会
10月 全国学生剣道大会
12月 全日本選手権大会

記者として ファンとして

私は高校時代から大学スポーツを見てきた。大学2年までは「観客」だったのが、大学3年から「学生記者」という立場になった。Jスポに入ることは私の中で憧れの意味が強かった。写真は撮れるけれど記事は書けない。その不安がすごく大きかった。でもやってみようと思った。取材を重ねるうちに、選手たちの思いをできるだけたくさん伝えたいと思った。だから自然と記事も書けるようになってきた。そして私は大会の取材に行き、ただ選手にカメラを向けるだけではなかった。大会の前夜まで寝れなかったり、競技の直前まで観るほど、心が飛び出し、泣いちゃうほどドキドキしたり、結果と部員と一緒に泣いたりする。私に力を与えてくれた。私は学生記者であつた。1人のファンでもあった。最初不安を感じていたのが嘘のようだった。

取材スタッフ

編集長	薬学部3年	松岡史史
編集委員	経営学部4年	吉田英成
	経営学部4年	佐川由紀
	薬学部3年	巻福仁美
	薬学部3年	西村健太郎
	経営学部2年	岩内康晴
	経営学部2年	渡辺真輝
	薬学部2年	本間啓久

アドバイザー
2014年度卒業 知見秀美紀
Jスポ Facebookはこちら
http://www.facebook.com/JOSAI SPORTS

